



# しろっこだより

赤穂市立城西小学校

〒678-0244

赤穂市城西町41番地

TEL 0791-42-0698

文責：北里 浩士



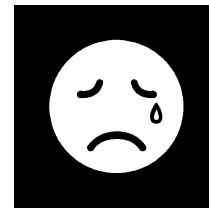
(最終号は、文字が多いです。ごめんなさい…)

## 『人生は、すべて「ハッピーエンド」なのか…?』

「ハッピーエンド」という言葉について調べてみると…、  
次のように書かれています。

《happy endingから》

小説・演劇・映画などで、物語の最後が  
**都合よくめでたく終わること。幸福な結末。**



(たとえば…こんな場合は…)

- ★友達とけんかをしてしまった → うまく「仲直り」ができた。
- ★なわとびが苦手だった → たくさん練習して「二重とび」ができるようになった。
- ★となりの家の窓ガラスを割ってしまった → あやまって許してもらえた。
- ★お金を落としてしまった → 誰かに拾ってもらい、もどってきた。

(大げさかも知れませんが) ★印の結果は、すべて「ハッピーエンド」と言えるかも知れません。学校でも、子どもが達成感を得られるように(ハッピーエンドで終わるように…)取り組んでいます。すべて「幸せな結末になる」…というわけにはいきません。「良い結果にならない」場合もあります。(でも、子どもの頑張りに対しては、最大限の評価をしていきます。)

保護者の皆様は、これまでの人生、すべて「ハッピーエンド」でしたか?

私自身を振り返ると…、「ハッピーエンド」よりも、「悲しい結末」の方が多かったように感じます。「たくさん練習したのに、結果は悪かった」「いろいろ準備したのに、満足した結果が得られなかった」ということが山ほどあります。しかも、結果が悪い上に、誰からも頑張りやを評価(頑張ったね…!…とか)してもらえないことも多々ありました。

でも、「悲しい結末」や「残念な結果」は、無駄なのでしょうか?

私は、無駄であるとは思いません。

「悲しい結末」や「残念な結果」は、次へのエネルギー(次は、頑張るぞ!)にもなりますし、正しい行動への学習(次は、〇〇を気を付けよう!)になります。何より、(次は、〇〇を気を付けよう!)という気持ちは、周囲の人や心に目を向ける絶好の機会となります。



(裏面もあります)

さて、卒業する6年生は、これから中学校に進学し、人間関係も広がり、自分自身の責任も大きくなります。「うまくいかないこと（失敗すること）」もたくさんあるのでしょうか。

「うまくいかないこと」や「失敗すること」は、悲しいことです。悲しい気持ちになると、笑うことなんてできません。中島みゆきさんが歌う「時代」という曲にも、このような歌詞があります。

♪ 今はこんなに悲しくて  
涙もかれ果てて  
もう二度と笑顔には なれそうもないけど…♪

笑顔にはなれそうもない（くらい悲しい）けど…、  
（失敗したり、物事がうまくいかなかったりした経験により）悲しい思いをした人は…、  
☆「次は、〇〇に気を付けて行動しようと思います」  
☆「人の心が理解できるようになります」  
☆「悲しんでいる人に寄り添うことができます」  
☆「何より心のエネルギーが大きくなります」

私たち大人は、子どもが「失敗しないように…」  
「悲しい思いをしないように…」 転ぶ前に助けて  
しまうことが多いものです。  
（私自身も、ついつい、先に助けてしまいがちです。）

でも、ある程度は、  
「近くで、その悲しみを、見守ること」も必要かも知れません。  
（悲しんでいる『あなた』には、『わたし』が見ているからね…）  
というメッセージを送りながら…。



「大人が手を出して（子どもを）助けてあげること」なのか「（子どもを）そっと見守るべきこと」なのか…判断は難しいところですが、「ハッピーエンド」にならなかったことが、子どもの成長のチャンスであることを、私たち大人は知っておく必要があると思います。

### 【保護者の皆様、1年間ありがとうございました。】

- いつも地域で、子どもたちの安全を見守っていただき、ありがとうございました。  
（交通立番、登校の見守り活動）
- 日々の学校生活に対するご支援をいただき、ありがとうございました。  
（学習準備および学習課題に対するご支援）
- 学校行事に対するご支援をいただき、ありがとうございました。  
（授業参観・運動会・音楽会・学年行事）

（最終号にも書かせていただいたように…）

子どもの成長に向けて、日々、子どもたちの心に寄り添っていただけたことに感謝を申し上げます。

4月からも、お子様の成長に向けて力を合わせていきましょう。

